

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

早く一人前になりたい人集まれ!でも研修は「広くて深い」

診療科の紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では聴覚、嗅覚、味覚、嚥下、発声など人間が人間らしく生きる上で最も基本的で重要な機能を扱っています。また、耳下腺・顎下腺・甲状腺疾患、さらには頭頸部癌の診断治療も専門とします。内科的、外科的側面の両面からアプローチできる科であり、先天性難聴や突発性難聴などの聴覚障害、めまい平衡障害、花粉症をはじめとする免疫アレルギー疾患などの内科的な加療を行う一方、中耳手術をはじめとするマイクロサージェリー、鼻副鼻腔の内視鏡手術、音声改善手術などの精密な手術や、頭頸部腫瘍の手術などの様々な外科的治療も行っています。疾患や手技も多岐にわたるため、自分の興味や体力、能力に応じて自分に適した分野を見つける事ができます。

外科系のなかでの特徴としては、早期より手術の執刀経験を積める事です。鼓膜チューブ留置術や口蓋扁桃摘出術、気管切開術など耳鼻科基本手術は1年目より術者として執刀することができます。また、顕微鏡や内視鏡を使用する手術は高齢になっても可能であり、外科医としての寿命も長いといえます。

専門研修プログラムの特徴

基幹研修施設である香川大学病院を必須選択として、A病院群(香川県立中央病院、高松赤十字病院)、B病院(坂出市立病院、高松市民病院、屋島総合病院、香川労災病院、さぬき市民病院)の7関連研修施設において、A病院群とB病院群から1施設ずつを選択し、それぞれの特徴を生かした研修を行います。基幹研修施設では専門外来を設置しており(腫瘍、鼻、耳、幼児難聴、音声・嚥下障害、めまい)、偏りのない医療を学ぶ事ができます。3年目以降は、希望があれば地域医療の第一線である小豆島中央病院での研修選択も可能です。

研修に関する行事

総回診、腫瘍回診、術前・術後カンファレンス、各専門領域カンファレンス(耳・鼻・音声嚥下)、カンサーボード
4年間の研修中:学会発表—3回 論文執筆・公表—1編(筆頭著者)

取得できる専門医資格および技能

- 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
- 頭頸部外科学会頭頸部がん専門医
- 気管食道科専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- がん治療認定医機構がん治療認定医



うどん県耳鼻咽喉科専門研修プログラム

(香川大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラム)

【プログラムの目的と特徴】

耳鼻咽喉科医としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の全ての領域において幅広い臨床能力を習得した専門医の育成を目的とします。基幹研修施設では専門外来を設置しており(腫瘍、耳、小児難聴、鼻、音声・嚥下)、偏りのない医療を学ぶ事ができます。

＜頭頸部腫瘍＞

香川県で唯一の頭頸部がん専門医制度指定研修施設です。香川県の頭頸部がんの90%強の症例を担当しており、十分な研修が受けられる環境が整っています。再建手術などの高難度な外科的治療はもとより、経口的な内視鏡手術も導入しており、将来のロボット手術に備えています。放射線治療科、放射線診断科、腫瘍内科など他科との集学的治療も高いレベルを誇り、IMRTを用いた放射線治療や、様々な分子標的薬を用いた抗がん治療などにも対応できます。集学的治療を通してがん患者の全身管理の指導も行っています。

＜鼻＞

鼻・副鼻腔手術は年間に100-130例程度の症例があり、地方大学としてはかなり多いといえます。また、脳外科や形成外科、眼科等の他科とコラボレーションしての手術も多く、鼻のみならず、頭蓋底・眼科内・口腔にも手術範囲が拡大されています。ナビゲーションシステムが導入されているので理解を深めやすく、手術模型を用いての指導も行っています。

＜耳＞

香川県全域から手術症例が集められるシステムを構築しているため、多くの鼓室形成術・人工内耳手術等の手術治療があります。またより低侵襲な内視鏡下耳科手術も積極的に施行しています。トランスレーショナルリサーチにも力をいれており、世界の第一線の研究を行えます。将来的には海外での研究も可能です。

＜音声・嚥下＞

音声障害に関しては、声帯振動の検査や音響分析等の他覚的評価、音声治療などを学べます。保存的治療に抵抗性であれば、繊細な調整を要する音声改善手術も施行しています。嚥下障害に対しては、県内外からの紹介や神経難病患者の多い関連病院との連携があり、手術の適応症例も含め多くの症例が経験できます。音声障害や嚥下障害の治療は、失われた機能を取り戻すことで患者の喜びに深く関わることができます。

【プログラムの概要】

基本プログラム



＜専門研修連携施設＞

- Aグループ 高松赤十字病院
香川県立中央病院
- Bグループ 坂出市立病院
高松市民病院
屋島総合病院
香川労災病院

学会発表： 4年間で3回以上
原著論文： 1編

基幹研修施設である香川大学病院を必須選択として、地域の中核医療を担うAグループの病院から1施設、地域医療を担うBグループの病院から1施設を選択し研修を行います。3年目以降は希望があれば、地域医療の第一線である小豆島中央病院での研修選択も可能です。

高松医療圏以外の研修施設も充実しており、香川県医学生修学資金貸付制度義務年限期間に対応した研修が可能です。

【基幹病院での研修の週間計画】

	月	火	水	木	金
AM	外来・病棟業務	手術	医局会 外来・手術	手術・外来	外来・病棟業務 手術
PM	腫瘍回診 耳カンファレンス Tumor Board	手術	病棟・回診 周術期カンファレンス	手術 音声・嚥下 カンファレンス	外来・病棟業務 鼻カンファレンス

手術、放射線治療及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能をもつ医師（耳鼻咽喉科、腫瘍内科、放射線治療・診断科、形成外科等）および、薬剤師や看護師等の医療スタッフが参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認をする。

【指導医と専門領域】



教授
星川 広史
頭頸部癌、頭蓋底・側頭骨外科

想像以上に守備範囲が広いです。必ずやりたいことがみつかります。一緒に成長していきましょう。



助教
岸野 毅日人 頭頸部腫瘍

他診療科や他施設と連携し、患者の状況に応じて最善の医療を提供しています。また時代の流れに合わせて、医療者自身のQOLも尊重しながら担当してがん治療にあたっています。



助教
秋山 貢佐 鼻・副鼻腔疾患

人間関係のストレスのない医局ですので、楽しんで研修してください。



准教授/医局長
宮下 武憲
耳疾患、中耳・内耳手術

専攻医1年目からマイクロサージャリーや内視鏡下手術ができる、私はこれで耳鼻科にはいました。幅広い疾患を、論理的に深く理解し治療する、忙しいけれど、思いっきり楽しみながら、世界に通用する実力を養いましょう。



助教
森 照茂 頭頸部癌
甲状腺・副甲状腺腫瘍

耳鼻咽喉科・頭頸部外科はヒトの感覚を手術で改善させることができる診療科です。私達と一緒に患者さんのQOLをあげましょう。



講師
伊藤 加奈子 音声・嚥下障害

耳鼻咽喉科は、失われた機能の改善に関わることができる分野です。治療による患者さんの喜びに触れる事で、治療者としての充実感も得られます。



助教
稲本 隆平 耳疾患、小児難聴

自分の興味・適正などに合わせて将来の専門領域を決める事が可能です。

【募集内容】

応募資格：

臨床研修修了登録証を有する（第98回以降の医師国家試験合格者のみ必要。平成30年3月31日までに臨床研修を修了する見込みの者を含む。）

応募期間：

平成29年6月1日～12月31日（予定）

選考方法：書類審査および面接により選考する。

【問い合わせ先】

学生・研修医担当：伊藤

TEL 087-891-2214

FAX 087-891-2215

E-mail jibika@med.kagawa-u.ac.jp